
遊戯王GX～お気楽極楽食欲な学園生活～

時金 成

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX〜お気楽極楽食欲な学園生活〜

【Nコード】

N1013Z

【作者名】

時金 成

【あらすじ】

俺は死んだ。けれど俺の死は神とやらの部下がミスをしたらしい。

そんな説明をされて、来世に特典付きで転生されるときだ。いや、正確には願いをいくつか叶えてくれると。

俺は今では唯一の家族だった妹2人の幸せを願い、来世に役立つ道具を俺の所持品の中から送ってくれと頼んで転生した。

そして、転生した先の世界は……あの有名なカードゲームの原点
遊戯王の世界だった。原作知識なんてほとんど役に立たない俺の
第2の人生……どうなっていくのやら。

00・TURN【じじはどじ？ 俺は……】（前書き）

【遊戯王GX - お気楽小僧の決闘者生活 -】の原型です。

お気楽小僧の方がやや詰まってるので気分転換と繋ぎのためにこちらも投稿します。その際に色々設定を追加・変更してお気楽小僧とはまた別の物語として進める予定です。

差違は次の話でまとめて書き出します。

00・TURN【じじはどこ？ 俺は……】

んん？ ここはどこだ？ 辺り一帯真っ白な目に痛い空間に俺は浮かんでいた。確か俺は三十路の誕生日で仕事をクビになって居酒屋でちびちび飲んでたはずなんだけど……。

「これ、お主が高峰勝利で相違ないな」

へ？ 名前を呼ばれ振り向いた先には周りの白よりも尚透き通った圧倒的なまでの純白の塊が存在していた。え、なにこれ？

4

「すまぬの。わしの姿はお主のような存在には、ちと荷が重いでの。光の塊にしか見えぬはずじゃが許しておくれ」

え、どなた……人？

「ふむ。お主らの言葉で表せば神が一番近いかも知れぬの。わしらは自らの事を統括せし者ミナリオンと呼んでおる」

み、ミーナリオン？ 種族の名前か何かですか？

「そう取ってもらって構わんよ。さて、わしがお主の前に姿を見せたワケを話そうかの」

あれ、なんか通じてる。というよりも喋れない？

「言いたい事は思い浮かべるだけで構わん。お主は今肉体がないのでな。不便じゃろうが今は我慢して欲しい。さて、お主が肉体を失った理由じゃが……端的にすればわしの部下がミスをしたとしか言えんのじゃ。部下に代わり謝罪する」

ミス、ですか？ 具体的には……。

「お主の隣に年配の男性が座ったじゃろ？ 彼の者の名は高松勝利というのじゃ。ここまで話せばだいたい想像できるはずじゃ」

名前が似てたから間違ってしまったと？

「うむ。お主は急性アルコール中毒と言う症状で病院に運ばれるが、死ぬほどではなかった。しかし、部下が勘違いしてな。心臓麻痺で亡くなるはずだった隣の老人ではなく、お主の肉体から魂を抜いてしもつたんじゃ」

あゝ、俺だと勘違いしたわけですね。ちょうどよく死にかけたから。

「その通りじゃ。本来ならお主は後70年ばかり生きるはずじゃったんだが。お主の肉体はすでに燃やされてしもつて生き返らせる事が不可能にな」

俺がこんなになっちゃった原因はわかりましたが、なんで説明されてるんでしょう？

「それはの。わしらにも守らねばならぬ規則がある。すでに決めら

れた命運から外れる行いはあつてはならぬのじゃ。その者達には一人の例外もなく、いくつかの希望を聞き別の世界で新たな肉体を与える決まりになつとる」

つまり転生？

「その通り。では、本題じゃ。お主、新たな世界では何を望む？」

あゝ、別に普通で。他の魂と同じでお願いします。

「ふむ。何もないのかね？ お主のいた世界にも干渉できるが……」

あ、なら遣してきた妹2人に幸せに暮らせるだけの加護つて大丈夫ですか？

「それくらいならば容易い。他にお主個人の願いはないのかの？」

俺個人ですか？　いくら食べても太らない体質とか、甘いものは常に別腹とか、ニキビとかおでき？　それが絶対にできないとか。あゝ、あとはバク転とかできたらいいですね。

「ふむ。今までの者達と比べると控えめよな」

そうなんですか？　参考までに聞いても？

「無限の魔力やありとあらゆる魔剣、聖剣を欲した者もおったな。じゃが、そのどちらも理を侵し無に還ってしもうたがの」

えっと、理ってなんでしようか？　破らないために聞きたいのですが。

「簡単な事じゃ。新たな肉体を得た世界で故意に殺生をしてはいかん。ただ、それだけじゃ。生きるために動植物を食らうのは仕方ない。じゃが、そうでなく故意に命を奪えば主の存在で贖わなければならない」

あの、自転車をこいでる時にアリを踏んだりとか、籠にトンボがぶつかって死んじゃった場合は……。

「故意でなければ大丈夫じゃ。だが、故意であるならばその瞬間にお主は無に還ることになるじゃろう」

それだけは絶対に忘れないようにしてください。

「うむ。して、他にあるのなら遠慮せず言いなさい」

あ、じゃあ。転生する先の世界で役に立ちそうな物を前世から持ってきて欲しいです。何が役に立つのか分からないのでお任せします。

「その程度ならよかろう。まだあるかね？」

いえ、それだけで構いません。

「そうか。ならばしばし眠りなさい。次に目覚める時にはすべて終わっている」

はい、よろしく願います。

「老骨の最後の仕事じゃて。久々に全身全霊を傾けてみようかの」

そんな呟きを聞きながら俺の意識は真っ白な空間に溶けていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1013z/>

遊戯王GX ~ お気楽極楽食欲な学園生活 ~

2011年12月3日21時56分発行